

日本基礎技術(株) 総合テクニカルセンター竣工式

去る2月9日、大輪西工業団地に進出した日本基礎技術(株)様の社屋が完成し、竣工式が行われました。日本基礎技術(株)様は、建設業界で知らぬ者はいないほどの大企業です。本社は大阪ですが、東京にも東京本社を置いています。資本金590億の東証一部上場の会社で、日本国内には30箇所もの営業拠点を持ち、海外にも進出している無借金経営の会社です。

そして、ほかにも明和町大輪工業団地には、このような1部上場企業が(株)アドバンテスト様、凸版印刷(株)様、(株)日本キャンパック様、昨年末に誘致した(株)トーモク様があり、素晴らしい企業が目白押しの優良企業団地です。

日本基礎技術(株)様には、昭和56年に明和町へ「東日本機械センター」として来ていただきました。現在の日本キャンパック群馬工場の道路を挟んだ南側に、1,000坪ほどの作業場と、国道122号旧昭和ドライブイン北の交差点を西に500メートルほどのところに、おおよそ3,000坪の資材置き場を有しております。しかし、今までの敷地では手狭であるということで、今回、大輪西工業団地内おおよそ15,000坪(5ヘクタール)に新社屋を構え、名称を「総合テクニカルセンター」とし、社員の研修施設(講義室・宿泊室)を備えた、大型重機の整備及び保管場所として進出をしていただく運びとなりました。

私が町長に就任したばかりの頃、企業誘致の関係で日本基礎技術(株)様が

ご来庁くださるといので、約束時間の前に「ホームページを見ておこう」と拝見しておりました。そして、ご来庁されたかたを見て、「先ほどホームページで拝見した中原社長にお顔が似ているな」と思いつつ名刺交換すると、なんと正真正銘、中原社長だったことに大変驚いたことを覚えております。まさか、大企業の社長自ら本社より遠く離れた当町へ直々にお越しただけとは思いませんでした。この出会いが全てであったと言っても過言ではなく、私は、行動力と決断力に満ちた中原社長にただただ圧倒され、その結果が今回の竣工式へと繋がったわけでございます。



今後、日本基礎技術(株)様におかれましては、この明和の地を会社の拠点とし、ますます社業を充実していただき、大きく利益を上げて明和町に良い波及効果を生んでいただければ最高だと期待しております。また、中原社長が「最新鋭の大型機械等を見学できるスペースを作り、地元の小学生が夢を抱けるきっかけも作りたい」と話されておりました。今後、凸版印刷(株)様の見学コーナー、(株)日本キャンパック様の見学コーナー、そして、日本基礎技術(株)様の見学コーナーで見学ツアーが組めるようになると、楽しい工業団地になるかな？と期待に胸を膨らませております。

平成30年2月26日

明和町長

富塚もとすけ